

日本技術士会近畿本部防災研究会「特別講演会」開催報告

- 1 日 時：平成 27 年 6 月 2 日（火） 19 時～20 時
- 2 場 所：日本技術士会近畿本部会議室
- 3 講 師：NPO 法人都市災害に備える技術者の会 理事長 伊藤東洋雄
- 4 聴講者：日本技術士会近畿本部防災研究会 会員 21 名
- 5 題 名：東日本大震災～気仙沼市からの報告～
- 6 内 容：

講演概要：講演の冒頭で、気仙沼市に派遣され復興支援を行った立場から「震災復興をいかに早くするか」をキーワードとして説明することを述べた。



講演する伊藤講師

①はじめに

気仙沼市概要説明に続き、東日本大震災の特徴について、阪神・淡路大震災と比較して次のように整理して述べた。

東日本大震災の特徴

- 1) 津波
- 2) 地盤沈下・水平移動
- 3) 地形



講演に聴き入る防災研究会の会員

②気仙沼市の被災概要

大震災による地盤沈下と津波による浸水、火災状況や気仙沼市終末処理場の状況などについて、写真等により被災状況の特徴を示すとともに、地盤沈下により浸水の危険性が高まっているなど早期の復旧の必要性も併せて示した。

③気仙沼市の復興計画

気仙沼市では、「津波死ゼロのまちづくり」「早期の産業復活と雇用の確保」「職住復活と生活復興」「持続発展可能な産業の再構築」「スローでスマートなまちと暮らし」「地域に笑顔溢れるまちづくり」を復興の目標として、「気仙沼市震災復興計画」を定めており、その7つの項目について説明した。

- 1) 災害危険区域の指定
- 2) 住まいの再建 避難所 応急仮設住宅
- 3) 住まいの再建 土地区画整理事業
- 4) 防災集団移転促進事業、5) 災害公営住宅整備事業、
- 6) 海岸・漁港機能強化事業、7) 農地の災害復旧

④復興への課題

復興への課題としては、事業の遅れを住民が待てない状況にあること、その遅れの原因の1つは国の災害査定の手続きに時間がかかることであること、また、復興まちづくりについては被災の前から計画を検討していくことの必要性など、以下のように整理して述べた。

- 1) 「復興」ペースに対する市民感覚
- 2) 国の支援・制度（協議設計～保留解除）
- 3) 下水道事業と他事業との調整
- 4) 工事費の高騰・作業員不足と社会資本の品質確保
- 5) 被災シミュレーションによるまちづくり計画

(以上)